

前光は口を閉ざす  
 待たるは待たず  
 又思ふ待たず  
 今日を待たず  
 己の心待たず  
 他日收獲す  
 必死して死す  
 益良心之全身ニ充滿シタル  
 丈夫ノ起リ来ラン事ヲ  
 月夜  
 徒傲三事  
 恍惚誰先天下憂  
 廟議未定國步危  
 英雄不起幸沖渺  
 望之必死上四  
 幸

同志社内部  
 所為を不修  
 想前不修  
 揚年自由  
 吹者確日  
 每病身  
 同志社  
 月年  
 身  
 又  
 自由  
 西者  
 先  
 士  
 止  
 君  
 標

横田安止宛の手紙（1889年11月23日付）

「益良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起リ来ラン事ヲ」という言葉が記されている